



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

（第一三七号）

処暑 しよしよ

八月二三日

## 他抜きだんらん亭

店頭に大きく「器」と記された日除けの布が迎えてくれる器の店「他抜きだんらん亭」。店名の他抜きは、他人抜き、つまり夫婦を意味します。店には日々の団らんにかかせない食器や箸などが並びます。

お盆が過ぎて、店内の器も様変わり、土ものが増えました。残暑は厳しいですが、秋を感じさせます。ちょうど、津市河芸町在住の松本尚さんと松本空見子さんご夫婦の個展も始まりました。お二人は、お月見を思わせるウサギの図柄がお得意です。

松本夫妻による、まさしく他人抜きの夫婦展ですが、二人は同じ工房で作陶しています。同店のおかみ、山本直美さんによると、お互いに作品については干渉せず、尚さんが得意の料理を担当するなど、仲の良いおしどり夫婦なのだから。けれど作風はそれぞれに異なります。

夫の尚さんはろくろ挽き。赤絵のお茶碗を手にもつと、土ものにかかわらず、軽いことに驚きました。お茶碗そのものは薄いのですが、口のあたりところ、口だまりがふっくらとしているのは、ろくろ挽きの技術の高さなのでしょう。そして、お茶碗をひっくり返すと、福の文字が書かれています。福のお裾分けをもらったようにうれしくなります。

一方、奥さんの空見子さんはろくろを使わず、もっぱら手びねり。お人柄でしょうか、ほんのりとした温かみが器から伝わってきます。同じウサギの図柄にしても、それぞれに个性的。尚さんは筆がのびやかで、今にもぴょんと飛び跳ねそうですね。空見子さんは、優しくてかわいらしく、思わず手に取りたくなります。個展は九月九日まで。

今年の中秋の名月は九月三〇日。月が美しくなる季節に、ウサギの器はよく合います。

文 千種清美

